

平成25年 年頭所感 (2013.1.1)

あけましておめでとうございます。

輝かしき新年を迎え、謹んでお祝い申し上げます。

年頭にあたり、皆様にはお元気で快適な生活が続くことをご祈念いたします。

平成も25年となり、四半世紀を経過しました。平成と書かれた紙面をかざす当時の小渕内閣官房長官の姿を懐かしく思い出しますが、今ではそのことを知らない世代の方々もかなり居られるのですね。

この数年は、政治の世界でも落ち着かなく、短期間での“首相の交代”が常態化しておりました。しかし、大震災や原発事故発生、そして我が国の島々を巡る外圧が高まる中で、多数の政党が雨後の竹の子のごとくに手を揚げての総選挙が行われました。

今後、離合集散が有るでしょうが、持続する落ち着いた政策が続く体制を構築してもらいたいものです。

年頭ですので少し自己紹介をいたします。今月の21日誕生日で、満69歳になります。

7年前に最初の”がん退治を経験しましたが、これは初期のもので、手術しました。

二回目の”がん・・・“は、2年前で、これはかなり進行型でしたが、手術と放射線療法を受けた結果、一過性の障害は有りましたが、一応処理できたと考えております。

自分を納得させる為にも、”がんの発生は予防出来ないが、早期に気付き対応するならば、がんとも共存できる時代である“との結論を得ております。

検診の大切さを語るときも、必ず添える一文にしております。一日一回の汗かき運動の継続も昨年末で、2500日を数えました。7年前に達成した5000日を目指して継続したいと考えております。

様々な日々を、肩の力を抜いて、良い加減に過ごし、ストレスを残さないようにしましょう。

これからもよろしくお願ひ申し上げます。

平成25年 元旦
院長 清治 邦夫